

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立今福小	学校	児童数	20
---------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	13.69	16.46	28.31	38.46	32.00	9.85	138.85	19.77	45.69
大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	14.57	14.43	31.14	34.86	25.43	10.51	125.71	12.43	44.57
大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28

結果の概要

男女ともにどの種目も全国平均、大阪市の平均を上回ることができなかった。体力合計点は大阪市と比べて男子は5.4ポイント、女子は8.1ポイント下回った。しかし、「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問では男子は全国が72.1%に対し84.6%と12.5ポイントも高く、女子は全国54.5%に対し、57.1%と2.6ポイント高い結果となった。男子は「好き」「やや好き」を合わせると100%であった。1週間の総運動時間60分未満の児童の割合は男子15.4%、女子28.6%と大阪市と比べてもずいぶん高かった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

2年間中止していた「なわとび週間」や「かけあし週間」の取り組みを今年度から再開しているが、児童の持久力の低下が見られる。1時間の授業の中で継続的に体力や持久力を高める運動を取り入れ、改善を図っていきたい。運動に対する好感度がとても高いことから、運動することに対しての抵抗はないと考える。これは、体育の時間に授業中の課題に応じた場の設定や、互いに教えあう時間を取り入れた成果と考える。引き続き、一人ひとりめあてを持たせ、場の工夫をした取り組みを行い、各個人の伸びや成果を指導者や友だちが認め、励ましていくことによって意欲的に活動できると考える。また、一週間の総運動時間などの結果から、個人の差がとても大きいことがわかる。多様な運動の経験をさせたり、学級全員や縦割り班で遊ぶ時間を作ったりして少しでも運動量を増やして、体を動かす楽しさや気持ちよさを感じさせていきたい。そして、生涯にわたって運動に親しみ資質や素地を作っていくたい。